

第27回 京都府看護学会 演題登録要項

1. 演題申込資格

筆頭研究者(発表者)および共同研究者は、本会会員であること。ただし、共同研究者が看護職でない場合は、会員でなくても共同研究者となることが出来る。

2. 演題登録要件

- 1)未発表の演題であること。ただし、施設内発表は可とする。
- 2)本要項に則って作成されている。

3. 種別

1)研究報告

調査等に基づく研究の成果についてまとめられた、看護学の発展につながる報告。

2)実践報告 ※新しく募集

臨床等の実践内容から得られた成果についてまとめられた、より質の高い看護実践につながる報告。

4. 演題登録区分

演題を登録するにあたり、日本看護学術集会演題登録区分に基づき、下記より選択する。

大項目		小項目	
I	健やかに生まれ育つことへの支援	1	安全で安心な妊娠・出産
		2	院内助産・助産師外来の開設推進と評価
		3	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ
		4	子育て包括支援
		5	障害を抱える母子への支援
		6	その他
II	健康に暮らすことへの支援	7	セルフケア能力の向上
		8	健康維持・増進
		9	地域における保健医療福祉に係る計画策定等
		10	健康危機管理
		11	その他
III	緊急・重症な状態から回復することへの支援	12	緊急・重篤な状態の患者の臨床推論と実践
		13	患者の回復と生活の質の改善
		14	治療提供や新たな医療技術における倫理判断と意思決定
		15	その他
IV	住み慣れた地域に戻ることに支援	16	円滑な在宅移行支援
		17	退院後の生活の調整
		18	訪問看護
		19	その他
V	疾病・障がいとともに暮らすことへの支援	20	疾病および障がいの重症化予防
		21	ケースのマネジメント
		22	療養と就業の両立
		23	本人と家族の意思尊重、意思決定支援
		24	その他
VI	穏やかに死を迎えることへの支援	25	苦痛と不安の緩和
		26	死に関する予測の告知と意思決定支援
		27	看取りケア
		28	その他

大項目		小項目	
VII	看護制度・政策	29	看護制度
		30	看護政策
		31	その他
VIII	看護管理	32	看護の質管理
		33	医療安全・感染管理
		34	労務管理
		35	看護職の確保・定着
		36	看護業務
		37	チーム医療・チームケア
		38	その他
IX	看護教育	39	基礎教育
		40	新人教育
		41	継続教育
		42	その他
X	国際看護	43	国際看護
XI	災害看護	44	災害看護

5. 倫理的配慮

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(令和3年3月23日制定)」にある「人を対象とした研究」である場合、研究倫理審査を受審することが必須となる。研究倫理審査を受審した場合抄録中に承認番号を必ず記載する。

記載例)A 病院の研究倫理審査委員会の承認を得た(承認番号 A-〇〇)

※人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針：[20220310006-1.pdf \(meti.go.jp\)](https://www.meti.go.jp/20220310006-1.pdf)

指針の対象外で受審しなかった場合も、研究・報告の過程で行った倫理的配慮は抄録内に記載する。

記載例)対象者には個人が特定されないよう匿名化することと情報の管理について、また、学術集会で症例報告として発表することを書面で説明し、同意書をもって同意を得た。

6. 演題登録

1)演題申込書にて、演題種類(研究報告・実践報告)、発表形式(口演・示説)を明記し申し込む
集録原稿の書式は、ホームページより 2 種類 (集録原稿 A・B) ダウンロード可能、枚数は 3 枚以内とする。

(1)集録原稿 A (集録印刷用)

演題・キーワード・発表者名・共同研究者名・所属施設名を記載する。

(2)集録原稿 B (選考用)

集録選考をするために、投稿者を特定できないよう発表者名、共同研究者名、所属施設名を記載しない。

演題・キーワード・本文は「集録原稿 A」と同一のものであること。

2)集録原稿 2 種類 (集録原稿 A, B) を準備し、「第 27 回京都府看護学会演題申込書」(別紙 1)を添えて送付する。

3)演題申込書は漏れの無いように記載する。

7. 集録作成時の注意点

1)＜研究報告＞の項目立て

- | |
|--|
| I. はじめに
II. 研究目的
III. 用語の定義
IV. 研究方法
V. 倫理的配慮
VI. 結果
VII. 考察
VIII. 結論
引用文献 |
|--|

※原稿は別紙【研究報告】の様式 1 を参照し、作成する。
フォーマットはホームページよりダウンロードする。

2)<実践報告>の項目立て

I. はじめに
II. 目的
III. 用語の定義
IV. 倫理的配慮
V. 実践内容
VI. 結果
VII. 考察
VIII. 結論
引用文献

※原稿は別紙【実践報告】の様式2を参照し、作成する。
フォーマットはホームページよりダウンロードする。

8. 集録選考基準

*演題登録の際の参考としてご活用下さい

研究報告	
A 新規性および意義	看護実践に意味のある知見および研究の新規性が明確に示されている
B 倫理的配慮	倫理的配慮が適切に行われている
C 論理の一貫性	目的から結果・考察までに一貫性がある
	研究目的を明確に示している。
	分析方法を適切に示している
	事実を客観的に示している。
得られた結果に基づいた解釈をしている	
D 構成の適切性	演題登録要項に添って形式を整えている

実践報告	
A 看護の視点	看護実践に意味ある事実や知見が示されている
B 倫理的配慮	倫理的配慮が適切に行われている
C 論理の一貫性	目的から結果・考察までに一貫性がある
	実践のねらいを明確に示している
	実践内容（手順・過程や成果）を明確に示している。
	事実を客観的に示している。
得られた結果に基づいた解釈をしている	
D 構成の適切性	演題登録要項に添って形式を整えている

(日本看護学会学術集会 演題登録規程 2024年度版に準ずる)

9. 演題発表形式

発表形式は、以下の通り。詳細については、発表形式の通知時に案内予定。

- 1) 口演発表
1 演題につき「発表時間 8 分」
- 2) 示説発表
1 演題につき「発表時間 5 分」

10. 募集期限 令和 6 年 8 月 19 日 (月) 16 時 (必着)

11. 送付および問合せ先

〒606-8111

京都市左京区高野泉町 40-5 公益社団法人京都府看護協会 「第 27 回京都府看護学会」係

TEL 075-723-7195 FAX 075-723-7272 Email kyokango@kyokango.or.jp

※受理日

※受理番号

※欄は記入しないこと

第27回京都府看護学会演題申込書

下記項目について、漏れの内容に記入し郵送して下さい。

種別	<input type="checkbox"/> 研究報告 <input type="checkbox"/> 実践報告	
演題名		
キーワード	※集録内容を表すキーワードを3～5個明記	
演題カテゴリー	※日本看護学会学術集会演題登録区分に基づき、大項目、小項目の番号を選択して記載する。区分は演題募集を参照	
	大項目	小項目
筆頭研究者(発表者)	氏名(ふりがな)	
	京都府看護協会会員番号	
	所属施設名(正式名称)	
	施設住所	〒
	TEL	() — (内線)
	FAX	() —
	E-mail	※査読結果は発表者に通知いたします。院内で報告が必要な場合は、筆頭研究者(発表者)から通知結果をお伝えください
発表形式	<input type="checkbox"/> 研究報告 口演 <input type="checkbox"/> 研究報告 示説 <input type="checkbox"/> 実践報告 口演 <input type="checkbox"/> 実践報告 示説	

共同研究者について記載して下さい

氏名	よみがな	職種	所属施設名	京都府看護協会 会員番号